

令和2年度版

単元・教材のねらいと、「学習指導要領」に示された「指導事項」「言語活動例」から、あてはまるものを表示。重点指導事項には、◎を付した。

△知技 ◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと ☆他教科との関連

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（１）・言語活動例（２）〉	時	学習活動	評価規準
10	2	しを よもう あめの うた	□イメージの広がりや音読をとおして、詩を楽しむ。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒◎知技(1)ク □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒◎思判表C(1)エ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	1・2	1. 詩を楽しく読むことを知る。 (1) 声に出して読む。 (2) 様子を思い浮かべながら音読する。 (3) 好きなところを発表し合う。 (4) お互いの音読を聞き合い、よかったことを伝える。	◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク） ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ） 【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
10	6 (書く6)	見つけたよ、いきもののひみつ	■生き物と触れ合ったことや見聞きしたことを思い出して書く。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ☆生活科：観察カードを書く活動などに生かすことができる。		○学習の見通しをもつ。 決めよう・集めよう（重点） 1. 生き物と触れ合ったことや見聞きしたことから、伝えたい生き物を決める。 組み立てよう 2. よく思い出して、メモに書く。 書こう 3. メモに書いたことから、伝えたいことを選び、書く。 ○学習を振り返る。	◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ） ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） 【態度】積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（１）・言語活動例（２）〉	時	学習活動	評価規準
10 ～ 11	15 (書く10)	一 かかれて いる こと を たしかめよう	□■自動車の「やくわり」と「つくり」に気をつけて読み、乗り物のことを紹介する文章を書く。			
10	5	はたらく じどう車	□「やくわり」と「つくり」に気をつけて、はたらく自動車について説明した文章を読む。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 →◎知技(1)オ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 →知技(1)カ △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 →知技(1)キ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 →知技(1)ク △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 →知技(2)ア □時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 →◎思判表C(1)ア □文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。 →◎思判表C(1)ウ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 →思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 →思判表C(1)カ □事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 →思判表C(2)ア	1	○単元について話し合い学習の計画を立てる。 確かめよう 1. 書かれていることの大体をつかむ。 出てくる自動車の名前やその自動車のことで知っていること、もっと知りたいことを発表し合う。	◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）
				2～5	考えよう 2. 「はたらくじどう車」の特徴をノートにまとめる。 (1) それぞれどんな「やくわり」があるか。 (2) 「やくわり」に合わせた「つくり」はどんなか。 それ以外の乗り物はどうか、興味を高めておく。 深めよう 3. それぞれの自動車の「やくわり」と「つくり」のつながりを説明する。 (1) ノートにまとめたことをもとに、自分が好きな働く自動車の「やくわり」と「つくり」について、友達に説明する。 (2) 説明を聞いて、面白いと思ったこと・不思議に思ったことなどを伝える。 ○学習を振り返る。	◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。
10 ～ 11	10 (書く10)	「のりものカード」でし らせよう	■乗り物について、カードを用いて順序にそって簡単な構成の説明の文章を書く。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 →◎知技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 →思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 →◎思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 →思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。 →思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 →思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 →思判表B(2)ア ☆生活科など：読み上げてまちがいを見つける方法は、生活科などでも応用できる。	1・2	○「学習の進め方」を読んで、見通しをもつ。 決めよう・集めよう 1. いろいろな乗り物の中から、知らせたい乗り物を決める。	◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）
				3・4	組み立てよう（重点） 2. 「やくわり」と「つくり」をメモに書く。 (1) 図鑑などの資料を読み、役割とつくりを調べる。 (2) 乗り物名、役割、つくりを短くメモに書く。 (3) 「ですから」を使って役割とつくりの関係をつなぐ。 (4) メモを友達と紹介し合う。	◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ）
				5～7	書こう 3. メモをもとに「のりものカード」を書く。	◎【態度】進んで事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「のりものカード」を書こうとしている。
				8	読み返そう 4. 「のりものカード」を声に出して読む。	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（１）・言語活動例（２）〉	時	学習活動	評価規準
				9・10	伝え合おう 5. 友達と読み合う。 ○学習を振り返る。	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（１）・言語活動例（２）〉	時	学習活動	評価規準
11	5 (話す聞く 5)	えを 見て おはなししよう	◇絵を見て話題を見つけ、友達と話したり、友達の話を受けて答えたりする。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 →知技(1)イ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 →◎知技(1)オ ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 →◎思判表A(1)ア ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 →思判表A(1)イ ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 →思判表A(1)ウ ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 →思判表A(1)エ ◇互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 →思判表A(1)オ ◇尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 →思判表A(2)イ	1 2・3 4・5	○教材名を読んで学習の見通しをもつ。 決めよう・集めよう（重点） 1. みんなで話し合って、それぞれのうさぎに名前をつける。 ・提示された絵を見て、場面の設定や状況をつかみ、話題を見つけて対話する。 2. 好きなうさぎになって、自己紹介をし合う。 ・話題にしたいことを選んでカードに書く。 3. それぞれのうさぎの言葉を考えて話す。 ・二人組みを作り、カードをもとに対話する。 ○学習を振り返り、感想を書いたり伝え合ったりする。	◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ） ◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aア） 【態度】進んで話題を決め、学習課題に沿って少人数で話し合おうとしている。
11	2	かん字の ひろば ① 日づけと よう日	△日付と曜日を表す漢字を正しく読む。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。 →◎知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 →知技(1)オ	1 2	○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. 今日は、何月何日かを確かめ、日づけの読み方を考える。 2. カレンダーから曜日の漢字を集め、読み方について話し合う。 3. 日づけや曜日の読み方に慣れる。 4. 「日づけのうた」と「よう日のうた」を楽しく唱える。	◎【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ） 【態度】積極的に漢字を読み、学習課題に沿って音読しようとしている。。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（１）・言語活動例（２）〉	時	学習活動	評価規準
11	16(書く10)	二 しやしんと 文から、 だれが なにを したかを たしかめよう	□■写真と文から誰が何ををしたかを読み、写真から言葉を想像してお話を書く。			
11	10 (書く4)	うみへの ながい たび	□白くまの様子を考えながら声に出して読み、写真と文から、誰が何ををしたかを確認める。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 → 知技(1)ア △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 →◎知技(1)ク ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 →思判表B(1)ア □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 →◎思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 →◎思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 →思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 →思判表C(1)カ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 →思判表B(2)ウ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 →思判表C(2)イ ☆道徳：D生命の尊さ 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	1 2・3 4～6 7 8～10	○単元とびらを読み、写真と文から誰が何ををしたかを確認めながら、『うみへの ながい たび』を読むことを確認する。 確かめよう 1. 「ながいたび」は、どのようなたびなのか考えながら読む。 (1) 何枚の写真があるか確認する。 (2) それぞれの写真で、誰が何をしているところかを話し合う。 考えよう 2. できごとの「じゅんじょ」を確認めながら読み、場面ごとの登場人物の様子を具体的に想像する。 (1) P33の写真と、P55の写真を比べて違いを見付ける。 (2) かあさんぐまが、白くまの兄弟を産んでから、P35の写真のように育つまでにどのくらいの時間が経っているのか確認する。 ※時を表す言葉を見つけて、ノートに書きながら、話の「順序」を確認する。 深めよう 3. いちばん好きな写真を選んで、友達に紹介する。 広げよう 4. かあさんぐまや子ぐまになったつもりで、言葉を考え、発表する。	◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク） 【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cイ） ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ） 【態度】進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。
11	6 (書く6)	きこえて きたよ、こんなことば	■写真をもとに、ふきだしの中の言葉を考えて、お話を書く。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 →◎知技(1)ウ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 →◎思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 →思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 →思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確認めたりすること。 →思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 →思判表B(1)オ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 →思判表B(2)ウ	11 12・13 14・15 16	○P52～55を読み、学習活動を理解して見通しをもつ。 決めよう・集めよう（重点） 5. 写真を見て、気づいたことを出し合ったり、想像したことを話したりする。 組み立てよう 6. 写真を見て、心に浮かんだ言葉や想像した言葉をふきだしに書く。 （組み立てを考えて）書こう・読み返そう 7. 8ふきだしをもとに、お話を考え、読み返す。 伝え合おう 9. 友達と読み合う。 ○学習を振り返る。	◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ） ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） 【態度】進んで想像したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして簡単なお話を書こうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
11	3	天に のぼった おけやさん	△古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、好きなところを音読する。 △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ △昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ⇒◎知技(3)ア □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。⇒思判表C(1)エ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。⇒思判表C(2)イ ☆生活科：地域に伝わる昔話や神話・伝承などを調べ、興味をもつ。 ☆道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。	1	1. 昔話について、簡単に知る。 2. 絵を見て、順序を考えながら、教師の音読を聞く。 3. 絵を手がかりにお話の順序を確かめる。	◎【知識・技能】昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。（〔知識及び技能〕(3)ア）
				2・3	4 おもしろかったところを発表する。	【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）
11	2	かたかな	△片仮名の書き方や使い方に慣れ、正しく使う。 △長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ	1	○学習内容を理解し、日常化への見通しをもつ。 1. P58を参考に、片仮名で書く言葉を発表したり、自分でも仲間ごとに言葉を集め、ノートに書いたりする。 2. まちがえやすい字形の片仮名を、書き順や形に気をつけて書く練習をする。	◎【知識・技能】片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)ウ）
				2	3. 片仮名の濁音と半濁音、長音や拗音の言葉を読んだり書いたりする。 ○学習したことを振り返る。	【態度】積極的に片仮名を読み、見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
12	2	かん字の ひろば ② かん字の よみかた	△漢字には、使い方によって読み方が変わるものがあることを理解する。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ	1	○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. 「山のぼり」「ふじ山」を声に出して読み、「山」の読み方の違いを考える。 2. 「日」に、いろいろな読み方があることを理解する。 3. 「山」「日」を使った言葉を集め、それぞれにどんな読み方があるかを確かめ、話し合う。	◎【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ）
				2	4. P61の設定問を考え、それぞれの漢字の読み方を確かめるとともに、他にも読み方がいくつかある漢字を探し出す。 ○学習したことを振り返る。	【態度】進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方にによって複数の読み方がある漢字を知ろうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（１）・言語活動例（２）〉	時	学習活動	評価規準
12	4 (書く4)	こころ ぽかぽか 手がみ を かこう	■相手を決めて、気持ちが伝わるように手紙を書く。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 → ◎知技(1)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 → 思判表 B (1) ア ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 → 思判表 B (1) ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。 → 思判表 ◎ B (1) エ ■日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。 → 思判表 B (2) イ	1 2 3 4	○学習の進め方を理解し、見通しをもつ。手紙を書くことに興味をもつ。 決めよう・集めよう 1. 伝えたいことや、相手を決める。 書こう・読み返そう 2. 手紙を書いて、読み返す。 伝え合おう 3. 手紙を渡す。 ○学習を振り返る。	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア） ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ） 【態度】粘り強く文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正し、学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（１）・言語活動例（２）〉	時	学習活動	評価規準
12	10	三 ばめんの ようすを くらべて よもう	□人物の動きや場面の様子の楽しさを読み、読書の世界を広げる。			
12	5	スイミー	□どのようなお話が考えながら読み、おもしろかったところを紹介する。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 →知技(1)オ △読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 →◎知技(3)エ □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 →思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 →◎思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 →思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 →思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを读んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 →思判表C(2)イ ☆道徳：D生命の尊さ 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	1 2・3 4 5	○単元とびらを読み、場面の様子を比べながら『スイミー』を読むことを確認する。 確かめよう 1. スイミーにどんなできごとがあったのか、考えながら読む。 (1) お話しに、誰が出てきたか、出てきた順番に確かめる。 (2) 心に残ったことを話し合う。 考えよう 2. スイミーは、始めと終わりでどのように変わったか話し合う。 深めよう 3. スイミーはどうして変わったのか、場面の様子に気をつけながら読み、訳を考える。 広げよう 4. 好きな場面を選んで、スイミーになったつもりで、言葉を考える。	◎【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(〔知識及び技能〕(3)エ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ) 【態度】進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。
12	5	「おはなしどうぶつえん」をつくって、本をしょうかいしよう	□動物の出てくる本を読んで、友達に紹介する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 →◎知技(1)ア □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 →◎思判表C(1)カ □読み聞かせを聞いたり物語などを读んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 →思判表C(2)イ □学校図書館などを利用し、図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。 →思判表C(2)ウ	6 7・8 9・10	○「おはなしどうぶつえん」を作り、動物の出てくるお話を紹介するという学習内容をつかみ、学習の見通しをもつ。 1. 動物の出てくる本を探して、読む。 2. 紹介カードを書き、動物ごとに貼り、「おはなしどうぶつえん」を作る。 「おはなしどうぶつえん」を開き、本の紹介をする。 (1) 好きな場面や心に残ったことを発表し合う。 (2) 紹介された本を読み、「おきやくさまカード」を貼る。	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ) 【態度】積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、今までの学習を生かして「おはなしどうぶつえん」を作り、本を紹介しようとしている。
1	1	しを たのしもう ゆき	△イメージの広がりや音読をとおして、詩を楽しむ。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 →知技(1)オ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 →◎知技(1)ク □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 →◎思判表C(1)エ □読み聞かせを聞いたり物語などを读んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 →思判表C(2)イ	1	1. 声に出して読み、言葉のリズムを味わう。 2. いろいろな雪と冬の季節の変化について考える。 3. 様子を想像して読む。 きゅっきゅとなく のしのしふる ずんずんつもる など 4. 最後の一行にどんな気持ちがかもっているかを考えながら読み、詩を楽しむ。	◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(〔知識及び技能〕(1)ク) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ) 【態度】進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
1	14 (書く5)	四 ぶんしょうと えを あわせて よもう	□文章と絵の対応に気をつけながら読み、いろいろな身振りが表すことを説明する文章を書く。			
		みぶりで つたえる	△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 → ◎知技(1)ア △丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 →知技(1)キ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 →知技(2)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 →思判表B(1)イ □時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 →思判表C(1)ア □文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。 →思判表C(1)ウ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 →◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 →◎思判表C(1)カ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 →思判表B(2)ア □事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 →思判表C(2)ア ☆総合的な学習の時間・生活科など：日常生活の中で使う身振りについて振り返り、気持ちを相手に伝える際に役立てる。	1 2 3～5 6・7 8～12 13・14	○単元名やリード文から学習の見通しをもつ。 身振りや手振りのことで知っていることや、本文の中に書かれているものの中で、自分が行ったことのあるジェスチャーについての話をする。 確かめよう 1. 書かれていることの大体を確かめる。 (1) 挿絵に番号をつける。 (2) どの文がどの絵のことを説明しているのか、確かめる。 考えよう 2. 文章と絵から話していることを想像する。 (1) P95までの絵にふきだしをつけて、どんなことを伝えようとしているかを書く。 (2) 書いたことを友達と読み合う。 深めよう 3. 日常生活の中にある身振り手振りについて考える。 ・日常生活の中で、どんな気持ちの時にどんな身振りをしているか、経験を話し合う。 広げよう 4. 身振りについて考え、説明する文章を書く。 (1) 日常生活の中にある身振り手振りを説明する文章を、絵を交えて書く。 (2) 友達と、書いたものを読み合う。 5. 言葉のはたらきと身振りのはたらきを比べて、考えたことを話し合う。 ○学習を振り返る	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。(〔知識及び技能〕(1)ア) 【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ) 【態度】積極的に文章の内容と自分の体験とを結びつけて、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
1	1	文を つくろう	△主語と述語の関係に気をつけながら、いろいろな文を作る。 △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 →知技(1)オ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 →◎知技(1)カ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 →知技(2)ア	1	○冒頭の会話文を通して、文作りに関する主語と述語の対応が重要だということを知る。 1. P102に描かれた事柄を、「だれ(なに)がどうしています」の文型に当てはめながら文を作り、発表する。 ○学習したことを振り返る。	◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。(〔知識及び技能〕(1)カ) 【態度】進んで文の中における主語と述語との関係に気付こうとし、学習課題に沿って簡単な文を作ろうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（１）・言語活動例（２）〉	時	学習活動	評価規準
1	2	かん字の ひろば ③ かわる よみかた	△使い方によって漢字の読み方が変わるものがあることを理解する。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)オ	1	○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. P104上段の文を声に出して読み、「一台」と「一軒」の読み方を比べ違いを考える。 2. P105上段の設問を考え、それぞれの言葉の読み方を確かめ、話し合う。 2 3. P105下段の設問を考え、それぞれの言葉の読み方を確かめ、それらの言葉を使って短い文を作り、発表し合う。 ○学習したことを振り返る。	◎【知識・技能】当該学年に配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ） 【態度】進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって読み方が変わる漢字を知ろうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
2	8 (書く8)	六 つたえたい ことを おもい出して かこう	■経験したことや見たことを思い出し、わかりやすい文章を書く。			
		おもい出の アルバム	△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)ウ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。⇒思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。⇒◎思判表B(1)ウ ■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。⇒◎思判表B(1)エ ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。⇒◎思判表B(1)オ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きたことを書く活動。⇒思判表B(2)ア	1 2・3 4～6 7・8	○「学習の進め方」を読み、学習の見通しをもつ。 決めよう・集めよう 1. 伝える相手を決め、伝えたいことを一つ選ぶ。 組み立てよう 2. 思い出したことを、メモに書く。 書こう・読み返そう(重点) 3・4. メモをもとに文章を書き、読み返す。 伝え合おう(重点) 5. 文章を読み合う。 (1) 友達同士で読み合う。 (2) 伝えたい相手に読んでもらう。 ○学習を振り返る。	◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 （〔知識及び技能〕(1)ウ） ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 （〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ） ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 （〔思考力、判断力、表現力等〕Bエ） ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 （〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ） 【態度】積極的に文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもってよいところを伝え合おうとしている。
2	3	かん字の ひろば ④ にて いる かん字	△形の似た漢字を正しく読んだり、書いたりする。 △第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒◎知技(1)エ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア	1 2 3	○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. 「人」と「入」の形の似ているところ、違うところを考える。 2. 「木」と「水」、「字」と「学」、「右」と「石」の似ているところと違うところを話し合い、字形に気をつけて、正しく書く。 3. 字形の一部に同じ部分が含まれている漢字があることに気づき、仲間集めをする。 4. 「十」と「七」、「力」と「九」、「上」と「土」、「山」と「出」、「本」と「文」、「月」と「目」の似ているところと違うところを確かめ、字形に気をつけて、正しく書く。 5. 漢字の足し算・引き算の問題に取り組む。 6. 「もののかたちからできたかん字」の問題に取り組む。 ○学習したことを振り返る。	◎【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。 （〔知識及び技能〕(1)エ） 【態度】積極的に漢字を読み、学習課題に沿って形の似た漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（１）・言語活動例（２）〉	時	学習活動	評価規準
2	1	しりとりで あそぼう	△二音節単位でつなげていく「しりとり遊び」のあることを知り、実際に活動してみる。 △音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒◎知技(1)イ △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ	1	1. 単語の語尾の一文字を次の単語の語頭にすえて遊ぶ「しりとり遊び」のルールを確認する。 2. 絵を見ながらしりとり言葉を確認、それぞれ何の仲間かを発表し合う。 3. 何の仲間ですりとりをするかを決め、グループですりとりをたのしむ。	◎【知識・技能】音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)イ） 【態度】進んで音節と文字との関係に気付こうとし、今までの学習を生かしてしりとりを楽しもうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
2～3	15 (書く5)	七 ようすを おもいうかべながら よもう	□様子を思い浮かべて読み、登場人物に手紙を書く。			
		お手がみ	△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒◎知技(1)カ △語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒◎思判表C(1)カ ■日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)イ □読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：B友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと。	1～6 7～10 11～15	○単元名やリード文から学習の見通しをもつ。 確かめよう 1. がまくんやかえるくんの行動を整理して、お話のあらすじをつかむ。 (1)挿絵を参考に、お話の順序を確認する。 (2)物語の概要をつかんでから、心に残ったところを話し合う。 考えよう 2. 二人の変化を読み取る。 ・始めと終わりで手紙を待つ場面がどのように変わったのか、理由も含めて考える。 深めよう 3. このお話の好きなところと、訳を話す。 広げよう 4. 登場人物の一人に宛てて手紙を書き、友達と読み合う。 ○学習を振り返る。	◎【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。 (〔知識及び技能〕(1)カ) 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Bオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ) ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ) 【態度】進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習課題に沿って登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。
3	2 (話す聞く1, 書く1)	こくごの がくしゅう これまで これから	◇■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。 ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒◎思判表A(1)ア ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	1	1. どんな言葉を学んできたのか思い出す。 2. 1. で思い出したことをみんなで交流し、共有する。 3. 2年生でどんな学習をしたいか希望を出し合う。	◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Aア) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Bア) 【態度】進んで話題を決め、今までの学習を生かして思い出したことや2年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。